



やまざき くにひろ 山崎 邦廣 議員

問 通学路の安全充実策を伺う

答 県への要望と合わせ、町道の充実推進

関係機関との連携
議員 県、警察、町内各学校などの連携の現状と今後の取り組みを伺う。
町長 町では、通学路における安全確保を目的に、関係機関で構成する「葛巻町通学路安全推進会議」を平成27年に設置し、「通学路安全プログラム」を策定するとともに、年一回の点検を継続的に実施し、点検結果を踏まえた安全対策の検討と充実のほか、危険箇所公表などに取り組んできている。

このような中、先般、千葉県で痛ましい事故が発生したことを受け、国の関係機関より通学路の合同点検の実施と危険箇所確認について依頼があり、町では、9月に予定していた「葛巻町通学路安全推進会議」による年一回の点検において、改めて危険箇所の確認を



葛巻小学校の通学路（国道281号線、田子付近）

行うとともに、通学路における安全確保対策に取り組んでいく。
 また、通学路を含め道路全般における安全で安心な通行を確保するため、国道、県道における危険箇所について、毎年8月に盛岡広域振興局を經由し岩手県に改善の要望を実施している。今後、早期に安全が確保さ

町道のハード対策

れ、安心して通行できる道路整備の要望を継続していく。
議員 通学路の安全充実について、今後の対策を伺う。
町長 町では、「葛巻町通学路安全推進会議」による年一回の点検において抽出された危険箇所や

地域からの要望などを踏まえ、カラー区画線などの設置のほか、歩行空間の分離などによる安全対策を講じてきた。
 併せて、交通指導員による交通安全教室の開催のほか、スクールガードリーダー、教職員、保護者による通学路の見守りなど、ソフト面での対策にも取り組んでいる。
 現在、町道茶屋場田子線の開通に伴い、本路線の交通量の増加が見込まれ、これまでも多くの児童生徒が通学路として使用しているため、歩道の未整備区間の解消に取り組むことにしている。
 また、その他の路線についても、通学路における安全の充実を図りたい。少子高齢化が進むなか、児童生徒の教育環境充実に積極的に取り組む町として、しっかり進めていく。



こんどう きよし 近藤 聖 議員

問 新しい橋の名称は

答 「おおばし」とする予定

新しい橋のキャッチフレーズについて
議員 新しい橋を「木橋」と発信しているが、今後キャッチフレーズをどのように使うのか伺う。
町長 林業振興や中心市街地のにぎわい創出などのため、町産材活用を検討してきた。当初構想では全体構造を木材で建設する考えだったが、強度・耐久性・橋梁としての許容取得などの課題により、主構造はコンクリートで、上屋に木材を使用することにした。
 計画検討の思いや情報発信力、聞きやすさ、なじみやすさなどを総合的に勘案し、便宜的な表現として「木橋」を使用しているものである。今後、改めて統一的な表現にすることは考えていない。
議員 木材活用は上屋部分であり、構造的に「木

橋」と呼ぶには違和感や疑問を感じる町民や観光客がいるのではないかと。
建築水道課長 建設工事上は「上屋付き橋梁」して進めている。「木橋」は、道路構造物として使っているのではなく、便宜上、木材を使っている橋として総称で使っている。
副町長 構造物の定義としてではなく、町の基幹産業である林業の振興・PRやまちなかの観光への集客力の向上へどう発信するかという思いなどから、木材を使った施設として「木橋」と表現している。
議員 「日本一の木屋根橋」として発信する方がよりふさわしく安心感があるのではないかと。
副町長 くずまき観光地域づくり協議会のくずまき型DMOなどで検討し、特徴を生かした効果的な情報発信に努めたい。



橋桁の設置が進む大橋架替工事

新しい橋の名称について
議員 広報などで掲載されているイメージ図では「くずまきおおばし」となっているが、これで決定か。また、新しい名称にする考えはないか。
町長 先人の思いが込められており、町民にとってもより親しみがわくものと考え、現在の名称を継承し、「おおばし」とする予定である。
 また、新たな町のシン

ボル、ランドマークとして、場所や施設がイメージしやすい表現を取り入れてPRするため、情報発信の内容・方法については改めて検討していく考えである。
議員 橋の新名称・愛称を町民から公募する考えはないか。
副町長 地域住民の要望を踏まえ、現段階では「おおばし」とする予定だが、DMOなどで、さらに検討したい。